

持続可能な社会・エネルギーシステムに関するグローバル協働型課題 解決ワークショップ

インドネシアの持続可能性・都市開発課題に関するグローバル協働型課題 解決ワークショップ

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2026年08月26日 ～2026年09月03日	インドネシア	スラバヤ工科大学	・環境システム学科、建築 コース、環境・都市コース、環 境・都市コース、建築コース、 環境システム学科 ・学部2年生、学部3年生、学 部4年生、学部2年生、学部3 年生、学部4年生、学部2年 生、学部3年生、学部4年生、 修士1年生、修士2年生、博士 1年生、博士2年生	(芝浦工業大学) 学生12名、学生バイト2名、 教員2名 (スラバヤ工科大学) 学生21名、学生バイト15名、 教員1名	KATRAMIZ TAREK(建 築・環境課程環境・都市コー ス)、齋田 朋子(建築・環境 課程環境・都市コース)



図1 ボードゲームの発表

“2026年8月25日から9月4日まで、インドネシア・スラバヤのInstitut Teknologi Sepuluh Nopember (ITS)にて、「Sustainability - Energy Transition」をテーマとしたGlobal Project-Based Learning (gPBL)を実施しました。芝浦工業大学、ITSおよびシンガポールの学生が国際混成チームを形成し、エネルギー転換や持続可能な社会の実現について学びました。プログラムでは、日本・インドネシアのエネルギー転換、電気自動車・燃料電池、社会的受容性などに関する講義に加え、グリーンビルディングや電気自動車関連施設等を通じた実践的な学習を行いました。

また、学生は講義で得た知識を活用し、サステナビリティ、廃棄物管理、カーボンニュートラル、環境意識などをテーマとした教育用ボードゲームを共同で企画・制作しました。異なる文化や専門的背景を持つ学生同士が議論を重ね、試作・改善を行った後、現地の学校を訪問し、実際に児童・生徒とボードゲームを用いた学習活動を実施しました。最終日には成果発表と振り返りを行い、サステナビリティに関する知識だけでなく、英語でのコミュニケーション、異文化理解、チームワーク、課題解決力を高める貴重な国際協同学習の機会となりました。”□



図2 学校訪問・ボードゲーム発表



図3 スラバヤ・マングローブ植物園



図4 グリーンビルディング(教会)見学



図5 ボードゲーム実施の様子



図6 プロモ山視察